

町村新報

發行日 毎月二十五日
 編輯兼印刷發行人 酒井秀吉
 發行所 福島縣石城郡磐城町大字
 下湯長谷勝三十八番地
 町村新報社
 定價 一月金十錢
 一月金二十錢
 五號活字十二字詰
 一行金二十錢
 廣告料 別色刷 四十錢

時事公論

今度恩給法の改正となるに、吾に職を與へよ、然らずんば最も優遇されて居る、陸海軍を與へよと叫んで居る軍人、特に軍部の大臣大将ではないか、それに文武高なる、産兒制限を提唱すれば反對に不景氣が深刻に居られます、つな子さんは磐城炭礦電氣課へ勤務、くの子さんまたお若へ爲めお遠くにお出掛けの爲めお申されま

世の中は考へれば考へる程、評判の好い産婆さんです。足立つな子さんは磐城炭礦電氣課へ勤務、くの子さんまたお若へ爲めお遠くにお出掛けの爲めお申されま

鬼澤くの子さん宮竹の内社宅に開業する主人は磐城炭礦電氣課へ勤務、くの子さんまたお若へ爲めお遠くにお出掛けの爲めお申されま

先途益々有望です。加藤けいさん宮平太郎八三に開業けいさんお年は二十五才の美人愛嬌は元仙台東北大學病院にて研究後東京にて開業手腕経験共に熱練せる方で實に晴板は下げたはよいがいつもお留守で産婦人は絶望女産よりも男のお産がよいでしょう。

黒木春子さん主人は驛倉庫掛をお勤めだそうです。内町に開業春子さんは他人の経験よりも自分の實際に研究に余念無く子福者である、過般も二兒を産み母子共健全目出度し。

石川の子さん白水入山に開業主人は全病院助手を勤めらる温厚な方で技術も人後に落ちることにはな

大友産婆さんは高坂に居られます、お主人は磐城炭礦安全燈を勤め、主人と共に人に接するに居られます、大友さんは禮儀の厚い方です。

大越艶子さん白水柳間自宅に開業主人は平陽女學校へ奉職艶子さんは平一丁

目鷹崎産婆學校の秀才で卒業、職務に至つて眞白目の方で將來名産婆たるを保證いたします。

石城郡内産婆風聞記

(内郷村の部)

今度恩給法の改正となるに、吾に職を與へよ、然らずんば最も優遇されて居る、陸海軍を與へよと叫んで居る軍人、特に軍部の大臣大将ではないか、それに文武高なる、産兒制限を提唱すれば反對に不景氣が深刻に居られます、つな子さんは磐城炭礦電氣課へ勤務、くの子さんまたお若へ爲めお遠くにお出掛けの爲めお申されま

世の中は考へれば考へる程、評判の好い産婆さんです。足立つな子さんは磐城炭礦電氣課へ勤務、くの子さんまたお若へ爲めお遠くにお出掛けの爲めお申されま

鬼澤くの子さん宮竹の内社宅に開業する主人は磐城炭礦電氣課へ勤務、くの子さんまたお若へ爲めお遠くにお出掛けの爲めお申されま

先途益々有望です。加藤けいさん宮平太郎八三に開業けいさんお年は二十五才の美人愛嬌は元仙台東北大學病院にて研究後東京にて開業手腕経験共に熱練せる方で實に晴板は下げたはよいがいつもお留守で産婦人は絶望女産よりも男のお産がよいでしょう。

黒木春子さん主人は驛倉庫掛をお勤めだそうです。内町に開業春子さんは他人の経験よりも自分の實際に研究に余念無く子福者である、過般も二兒を産み母子共健全目出度し。

石川の子さん白水入山に開業主人は全病院助手を勤めらる温厚な方で技術も人後に落ちることにはな

大友産婆さんは高坂に居られます、お主人は磐城炭礦安全燈を勤め、主人と共に人に接するに居られます、大友さんは禮儀の厚い方です。

大越艶子さん白水柳間自宅に開業主人は平陽女學校へ奉職艶子さんは平一丁

目鷹崎産婆學校の秀才で卒業、職務に至つて眞白目の方で將來名産婆たるを保證いたします。

展望

石城郡の縣會議員有権者數は三万七千六百六十六名である。

内郷村一の美人の稱ある山崎産婆さん〇〇醫師と色情狂とは人道問題です。

道會社の舟田文雄と云ふ惡漢である、自動車運轉の素質向上のため其筋の注意を望む。

二百名見物人は約八百名

マルトモ書店
平町

生徒募集
東京電氣療法研究所
福島縣支部長 水戸徳次
内郷村上好間

薄葉自動車部
綴驛前

齊藤齒科醫院
内郷村宮町八六

磐城無盡商會
平町大町

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント會社特約店

和洋銅鐵
金物問屋
磐城平、五、電話九番 九九番
振替口座東京一〇九五六番

釜屋店
確實敏捷は釜屋の生命なり